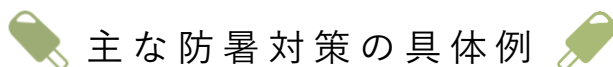


暑い夏がやってきます

- 年々、夏の暑さが厳しくなっています。豚は未発達な汗腺と厚い皮下脂肪のために暑さが苦手です。高温多湿となる梅雨の時期から生産性維持のために暑さ対策をしましょう。豚にとって快適な飼養環境を作るとは、生産性向上につながるとともに管理者の労働環境の向上にもつながります。



主な防暑対策の具体例

豚舎の屋根への対策

舎内の温度を上げる最大の要因は、太陽熱です。そして、豚舎全体の総表面積でも割合が大きい場所は屋根となります。真夏の日中の屋根の表面温度は50°C以上にまで達します。屋根を断熱することが最も効果的です。

1 石灰散布

石灰散布などにより屋根を白くして舎内への太陽熱を反射させることで、夏場の舎内温度の上昇を抑えることができます。屋根の汚れや色あせは、太陽熱を吸収してしまうため、毎年夏前には屋根を白く塗り直すことが望ましいです。

2 散水

水は蒸発時に熱を奪うため、温度を下げることができます。豚舎周囲のアスファルト、コンクリートにも有効です。

3 断熱材の強化

厚さ20～30mmの硬質ウレタンボードを張る等で屋根の熱を遮断します。

蒸散の利用

首筋付近に水を滴下させ、体熱放散を促進させるペットボトルクーリングや、豚舎の壁面に湿潤状態のパッドを設置し、ここから豚舎への給気を冷却するクーリングパッド、細霧装置の設置があげられます。湿度の高い空気がうまく排出されないと熱をため込み、熱死事故につながるので換気と合わせて行いましょう。

換気扇の設置

開放豚舎では、舎内の通風が悪化すると熱が滞留して舎内温度を上昇させます。居住区間への新鮮な空気の送風、舎内の空気の舎外への排出を目的に換気扇設備を強化しましょう。

- 以上の防暑対策をとるとともに、基本的な栄養管理を行うことで、暑熱の影響を受けにくい母豚を育てることも重要です。